

安全かつ早期の処理完了に向けた市の主な取組

令和 2 年 8 月 北九州市環境局

1. 処理の安全性確保

- 北九州 PCB 処理事業所における処理の安全性を確保するため、抜き打ちによる立入検査を通じて、作業上の安全対策に加え、長期的な設備の健全性の確保に向けた適切な補修・更新状況について確認。また、過去トラブルの再発防止策が確実に継続して実施されているか確認するとともに、昨年度から開始した第 1 期施設の解体撤去や安定器の処理促進策など、新たな状況に対応した安全対策が講じられているか確認。(立入回数：24 回／令和 2 年 1～7 月)。
- JESCO と運転会社の会議や、事業所内研修に参加して、全てのリスク情報を現場から直接収集・把握するなど、適切な作業管理を徹底(参加回数：12 回／令和 2 年 1～7 月)。



事業所内立入検査の様子

2. 期間内での確実な処理

- 令和 2 年 2 月に、「第 9 回北九州 PCB 廃棄物処理事業に係る西日本広域協議会」を開催し、本市から関係自治体に対して期間内での確実な処理に向けた取り組みを強く要請。
- 本市において開設している「北九州 PCB 処理事業自治体間ネットワークシステム」により、掘り起こし調査等に関して、事例を通じた有効な対策など実効的な情報をリアルタイムで共有し、早期処理に向けた取り組みを支援。



西日本広域協議会の様子

3. 地域の理解（情報発信）

- 令和 2 年 3 月に、北九州 PCB 処理事業に関する情報を掲載した「PCB 処理だより(第 43 号)」を発行。
- 本市において開設している「北九州市環境・コミュニティセンター(若松区明治町銀天街内)」、「PCB 処理に関する情報サイト」により、北九州 PCB 処理事業に関する情報を発信。
※コミュニティセンターでは、新型コロナウイルス感染対策として、来場者の検温等による管理、混雑時の入場制限、ソーシャルディスタンスを確保した座席配置等を実施。



コミュニティセンター内の様子

(以上)